

毎月19日は、「かがわ育児の日」



県を含む官民67団体で構成する「かがわ子育て支援県民会議」では、毎月19日を「かがわ育児の日」（育=い（1）く（9）児の日）として提唱。育児の日を普及させ、安心して子どもを育てることができる環境づくりを進めています。

高松大学・高松短期大学

かがわ子育て支援県民会議会員の取組みレポート Vol.8

日時 令和5年11月11日（土）10:00~15:00
場所 高松大学・高松短期大学

高松大学・高松短期大学が開催する「大学祭」では発達科学部と保育学科の学生が中心となり、子どもたちに遊び場を提供していました。今回はそれぞれの学生有志によるイベント「げんき村16丁目わんぱく通り」、「ほいくのくに」について紹介します。

高松大学発達科学部げんき村 16丁目わんぱく通り

「げんき村」は主に、高松大学・高松短期大学の大学祭で、子育て家庭向けに遊び場を提供する「げんき村〇丁目わんぱく通り」と、地域のイベント等に出向いて遊び場を提供する「出張げんき村」の活動を実施しています。

今回は、大学祭で遊び場を提供する「げんき村16丁目わんぱく通り」の取材をさせていただきました。



高松大学発達科学部の学生が企画する「げんき村16丁目わんぱく通り」では、「生き物」をテーマに、様々な遊び場が提供されていました。メインアトラクションでは、大学生から遊び場でのルール説明を受けた後、「魚釣り」や「ボール投げ」、「絵合わせ」など5つの遊び場を楽しんでいました。



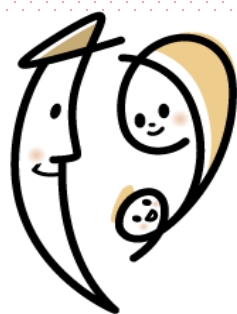
製作コーナーでは、親子のコミュニケーションをはかるため、少し難しい工作に挑戦したり、親子でお絵描きをしたりしていました。

担当されていた学生さんは、「子どもと保護者の方が笑顔になったり、保護者の方に子どもの成長や新たな一面を発見したりしてもらえると嬉しい。」と話してくださいました。



「げんき村16丁目わんぱく通り」村長の尾形さん（3年生）と副村長の小西さん（3年生）は、インタビューで、「大学の授業とは別で活動しているため、準備は大変だったが、子どもや保護者の方が笑顔で楽しんでくださっていて良かった。この先も、地域の人に活動を知ってもらい、活動を続けられるよう盛り上げていきたい。」と話してくださいました。

毎月19日は、「かがわ育児の日」



県を含む官民67団体で構成する「かがわ子育て支援県民会議」では、毎月19日を「かがわ育児の日」（育=い（1）く（9）児の日）として提唱。育児の日を普及させ、安心して子どもを育てることができる環境づくりを進めています。

かがわ子育て支援県民会議会員の取組みレポート Vol.8

高松短期大学保育学科 「ほいくのくに」

「ほいくのくに」は保育学科の1年生が中心となり、各研究室がそれぞれのブースや催しを実施していました。参加した学生さんのほとんどが初めての経験にも関わらず、通路の飾り物や遊び場は全て手作り。保育士を目指す学生さんが、0歳～5歳のお子さまを対象に遊び場を提供していました。



午前・午後の2回上演された「パネルシアター」と「人形劇」は、多くの親子が訪れ、大盛況でした。参加した子どもたちは、学生さんに合わせて体を動かしたり、物語を真剣に聞いたりしていました。

研究室ごとに絵本をモチーフにした遊び場が提供されており、多くの子どもたちが訪れ、楽しそうに遊び場を堪能していました。



お買い物したり！

おにぎりを探したり！

迷路をしたり！

輪投げをしたり！



遊び終わったら
プレゼントをゲット！



「ほいくのくに」運営委員長の三木さん（1年生）は、インタビューで「全てのことが初めての経験だったので、不安は大きかったが、子どもたちが喜ぶ姿を見れて達成感がある。今後、保育実習や就職先で経験を生かしていきたい。」と話してくださいました。